

第62回徳島県高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会 及び第33回四国高校選手権大会の感染防止対策について

徳島県高体連ウエイトリフティング専門部

○感染防止対策について

「新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」から … 徳島県ウエイトリフティング協会

① ガイドラインの位置づけ

- (1) 競技会の安全・安心を目的として開催を目指す。
- (2) 開催時における感染拡大予防を行う。
- (3) 「かからない」「うつさない」「拡大させない」を目指す。

② 大会運営について

- (1) 3密（密接・密集・密閉）の回避、ソーシャルディスタンス、マスク（不織布）等を着用し、会場の換気を心がける。
（布・ウレタンマスクは不可とする。）選手はアップ・競技中は、マスクを外してもよいが、競技終了後はマスク着用のこと。
- (2) 参加選手・役員等は、2週間前からの健康チェックシートを作成し、大会当日持参し、受付に提出すること。大会当日37.5度以上の場合は、参加を認めない。
健康チェックシートに37.5度を超える症状あるいは、該当する項目がある場合は、必ず医師の診断を受け、コロナ感染者の可能性が低いと診断された場合は、翌日から参加できる。（受診できなかった事が、特別な理由と認められる場合のみ、検査キットで陰性が確認された翌日から参加できる。）
健康チェックシートを確認後、チェックを受けた者は、マスクにシールを貼付し、会場内等で活動できる。
- (3) ゴミ箱は設置しない。ゴミは各自が持ち帰る。
- (4) 観客は問診票の記入を義務付け、感染が疑われる場合の入場は認めない。また、密にならない程度の入場を認め、上限を30名とする。（先着順で入場し、空席があれば入場できる。）また、動画で競技状況の配信を行う。
- (5) 選手は、控室から移動時及びアップ場で使用した器具等の消毒を行う。
- (6) 開閉会式は行わず、賞状等は後日関係者に送付する。
- (7) その他の事項は、日本ウエイトリフティング協会の感染拡大防止ガイドラインに準ずる。
- (8) 競技会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発生した場合は、徳島県協会事務局（古上事務局長）へ連絡すること。

③ 競技会について

- (1) セCOND数について、学校単位（男女の区別は無）で、選手1名に2名以内・2名に3名以内・選手3名以上は4名以内とする。成年は1名に2名まで。（特別ルール）
- (2) アップ場でのシャフトは、同学校選手でシャフト1本に2人までの使用とする。（手指消毒を考えながら使用の事）
- (3) 大きな声での指示、声援は控えること。
- (4) 炭酸マグネシウムは会場に設置する。または、各自が準備した炭酸マグネシウムの使用も認める。（特別ルール）
- (5) 感染予防の観点から、控室での敷物は準備しないので、各自でストレッチマット等を準備すること。

<参考>選手の参加判断基準表

※ウについては、発熱だけでなく、だるさや息苦しさ等の項目にチェックがある場合は、必ず医師の受診を受けること。

◎感染者、濃厚接触者、感染疑い者の定義について

ア. 感染者

- ・PCR検査（LAMP法、TMA法も含む。※以下同じ）、抗原定量検査または抗原定性検査で陽性と判定された者
- ・感染者の発生日とは症状が出始めた日とし、発症日が不明な場合は陽性と判定された検体採取日とする。
- ・所轄保健所で判断された者。

イ. 濃厚接触者

- ・濃厚接触者は所轄保健所で判断された者。

ウ. 感染疑い者

- ・発熱（37.5℃以上）や風邪症状（咳、のどの痛み）、だるさや息苦しさ、味覚や嗅覚の異常など健康チェックシートにおけるチェック項目該当者を感染疑い者とする。

	出場条件
ア. 感染者となった場合	大会前日までに医師（保健所）より許可が得られた場合
イ. 濃厚接触者となった場合	大会前日までに医師（保健所）より許可が得られた場合
ウ. 感染疑い者となった場合	大会前日までに医師（保健所）より許可が得られた場合